

西北管内生活支援サービス等の状況

(R6.10.1現在)

	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
移動販売	【七和地区】 高齢により自家用車、バスを利用し買物に行けない状況があり、H30.4から県民生協と連携した移動販売を実施中。	【つがる市】 ・NPO法人元気おたすけ隊が主体となり、高齢者や交通弱者に対する買物支援策として宅配サービス、移動販売を実施している。 ・むらおこし拠点館フラットでは、民間の移動販売が実施されていない地区を対象に高齢者(買い物弱者)の支援を目的に、移動販売を実施している。	【鱒ヶ沢町】 ・鱒ヶ沢地域創生合同会社が移動販売車を利用した買物支援サービスを実施。町社協は実施事業に協力という形で買物に不便を感じる地区の情報提供や移動販売を利用した方で困りごとなどの声があれば自宅訪問などの連携した取組をしている。	【深浦町】 地理的な面や高齢化率の上昇等により、買物、配食、移動支援へのニーズあり。個人・民間事業者3社程度が移動販売を行っているが、ルート外の地区も多い。	【鶴田町(社協)】 移動販売は実施していないが、自ら買物に行けない高齢者へ、スーパー等への移動支援を実施している。	【中泊町】 高齢により自家用車、バスを利用し買物に行けない、近くに食料品店がなく、食材を購入できない状況があり、H30.8から受注宅配サービスを実施。 現在は町内全域において移動販売を実施している。
配食サービス	【五所川原市】 ・民間の弁当配達あり 【五所川原市(社協)】 ・生活困窮世帯へ、フードバンク事業等で早急な食料支援や家電の貸出が可能。	【つがる市】 高齢者世帯の自宅を訪問して食事を提供するとともに安否を確認する。 ・週3回までの利用が可能 ・1食300円	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・安否確認も兼ねて高齢者、障害者、困窮者世帯への配食サービスを実施。 ・フードバンク事業の活用や、生活困窮者等への無料配食を実施。 【鱒ヶ沢町】 配食サービスを行っている3つの事業者に対して補助金を交付。	【深浦町(社協)】 安否確認も兼ねて高齢者世帯への配食サービスを実施。 【深浦町】 配食サービスを行っている3事業者に対して補助金を交付。	【鶴田町】 介護認定未済の人は、弁当宅配を活用。何かあれば弁当屋から役場に連絡が入る。 【鶴田町(社協)】 安否確認も兼ねて、高齢者世帯への配食サービスを実施。ボランティアが調理し、民生委員が配達している。民間事業者を紹介している。	【中泊町(社協)】 ・安否確認も兼ねて高齢者世帯への配食サービスを実施。 ・フードバンクシステム構築事業により生活困窮者等への食品無償提供を実施。
見守り・お宅訪問	【七和地区】 生協による移動販売時にお宅訪問による見守りを実施。 【五所川原市(社協)】 ・住民主体の見守りや支え合い活動強化を目標に、27町内会へ助成。地域に則した見守りを促進。 ・住民主体の見守り活動や生活困窮者等の早期発見ネットワークづくりを推進するため、住民向け研修会を開催。 ・ふくし安心電話設置者へ、ボランティア等が、原則、週1回の電話訪問で傾聴等を行っている。	【つがる市(社協)】 ・民生委員、ほのぼの協力員による見守りを実施。 ・福祉安心電話利用者には電話による見守り、また、配食サービス利用者には弁当配達時に安否を確認している。 ・宅配業務等で地域の高齢者と日常的にかかわりのある事業者と市が高齢者の見守り活動に関する協定を結び、市内の高齢者世帯等について、見守り活動を実施。	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・自主事業の外出支援事業で見守りや相談を実施。 ・民生児童委員や社協支部協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。 【鱒ヶ沢町】 ・配食サービスを行っている事業者へは、配食時に見守り・安否確認を依頼している。 ・地域全体で見守りネットワークの推進を図り、埋もれつつある生活困窮者の支援に繋げる。	【深浦町】 各種団体等が見守り等を行う 【深浦町(社協)】 ・生活お助け隊事業への登録による安否確認等が行われている。 ・民生児童委員や社協のほのぼの交流協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。	【鶴田町】 ・必要に応じて町保健師の訪問活動や町内会・民生委員等による見守りを実施。 ・生活支援サポーター養成講座を実施。R5年度新たに7名登録され現在18名登録。R6年度は現在登録している方を対象にスキルアップ研修を実施予定。 【鶴田町(社協)】 民生児童委員やほのぼの交流協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。	【中泊町】 移動販売時及び郵便局、生協等と提携し、見守りを実施している。また、必要に応じて民生委員や集落支援員等による見守りを実施している。 【中泊町(社協)】 民生児童委員や社協の地域の見守り協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。
高齢者サロン	【通いの場】 ・市内45か所で通いの場が開催されており、第2層コーディネーターが介入して実態把握と助け合いのエンパワメント(強化)を行っている。 【五所川原市(社協)】 ・高齢者や子育て世代等のサロン運営の支援を行い、8団体が助成を受けながら、生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げている。 ・町内会を単位として、自主的に企画・運営するサロン活動に対して助成。12町内会が実施。 ・近隣とのつながりや絆の再構築を図るため、若男女地域の誰もが参加できる交流会を実施する20町内会に助成。	【つがる市】 ・高齢者の生きがいと健康づくり事業(木造、森田、車力)及び老人福祉センター入浴事業(柏、稲垣)。市内5地区の温泉を高齢者に無料開放し入浴や交流の場となっている。 ・つどいの場は39ヶ所。運営主体は行政主体11ヶ所、住民主体23ヶ所、その他1ヶ所。いずれも介護予防に資するサロンで体操や趣味活動を行っている。 ・行政主体のサロン(一般介護予防事業)では、専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士)を講師とし介護予防教室を実施している。 【つがる市(社協)】 ・住民主体のサロン 市内23ヶ所(冬期間のみ開催もあり)	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・生活支援CNが、町内18ヶ所の住民主体の高齢者ふれあいの場の運営を支援。(R5.10.1現在) ・R2年度は、代表者間の意見交換の場を開催予定。 ・老人クラブ(H30年度から事務局担当)や町内会を社会資源として集い場づくりを推進中。 【鱒ヶ沢町】 ・高齢者ふれあいの場を16ヶ所で開設している。	【深浦町(社協)】 ・35行政区中32カ所で「生きがい活動推進事業」を行っているが、参加者が減少傾向にあり、新規参加者の確保が課題(非常勤の支援員7名を配置。週1回2時間程度、健康チェック・体操・レク等を実施。その他、専門のトレーナーによる運動指導や合同交流会等の行事も多数実施)⇒H12.9月の町「健康長寿のまち宣言」の一環として、レク等を通じて健康づくりを行っているもの。 ・6月～11月、町内3カ所で週1回、認知症予防を目的として「脳の健康教室」を実施。 ・認知症カフェを月1回開催 【深浦町】 住民主体の「高齢者げんきサロン」を1ヶ所で実施。	【鶴田町(社協)】 ・住民主体の「地区サロン」を3地区で実施している。より多くの地区での実施を目指し生活支援コーディネーターが周知活動を続けている。 ・各町内会主体の住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動福祉デイ」を31地区で実施し、住民自らの発想による誰もが参加できる場を展開している。 ・一般介護予防事業として、ほっこりサロン(毎週月・金曜日)、カラオケクラブ(月2回)、ゴニカンクラブ(月2回)、コソリ体操(月2回)、ヨガ(月2回)、フラダンス(月2回)、ポッチャクラブ(月2回)、書道クラブ(月2回)、ノルディックウォーク(月2回)、認知症カフェ(月1回)、脳楽寺子屋(全20回)を町保健福祉センターで開催している。(送迎あり)	【中泊町(社協)】 ・町委託の高齢者の生きがいと健康づくり事業を毎月1回開催。 ・生活支援CNが、住民主体の集いの場「駅ナカ学校」(月1回)の運営を支援。小泊地域においても6月、9月、11月に開催。「ピュア移動販売」に合わせ、集いの場を開催し、買い物に加えて安否確認や健康づくりなど、交流ができる仕組みづくりを行っている。 【中泊町】 ・住民主体の「通いの場(体操等)」を15カ所で開催。地域包括支援センター(社福・内湯療護園委託)が活動を支援し、町が燃料費等補助している。 また、中里地域及び小泊地域において、月1回認知症カフェを実施している。
移送サービス	【五所川原市(社協)】 ・外出が困難な高齢者・障がい者を対象に、医療機関受診や買物の送迎など、介護輸送・ケア輸送を実施。 【五所川原市】 ・訪問型サービスD事業実施。	【つがる市】 外出支援サービス事業 ・65歳以上で一般の交通機関を利用出来ない(車椅子・ストレッチャー使用者)方を移送用車両で自宅と医療機関等の間を送迎する。 ・利用回数は月2回まで ・利用料は無料 タクシー助成事業 ・通院や買い物等の高齢者の日常生活における外出等を支援。 ・つがる市住民基本台帳に住民登録されている満75歳以上を対象に実施。	【鱒ヶ沢町】 タクシーの台数が削減され、夜9時以降は営業していないため、在宅での看取りや救急外来利用時の移動手段に支障がある。 【鱒ヶ沢町(社協)】 ・R4.5月より買物の移動に不自由を抱える方を対象に毎月2回(5コース×2)予約型買い物支援バスを午前・午後運行している。運転手は市町村有償運送等運転者講習を受講した生き生きわーくセンター会員を登録し高齢者の活躍の場としても活用している。 ・介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービス(ケア輸送)を実施。職員の確保が課題。	【深浦町(社協)】 介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービス(介護輸送・ケア輸送)が行われている。職員の確保が課題。 ボランティア等による移動支援も検討。	【鶴田町(社協)】 ・介護予防送迎車「スマイル号」(予約制)を平日運行。温泉と介護予防事業等を行っている福祉センターへ無料で送迎している。福祉センターから町内スーパー等への送迎も行っている。 ・要介護者・要支援者等への移送サービス(介護輸送・ケア輸送)を実施している。	【中泊町(社協)】 ・介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービスが行われている。ケア輸送については現在も1台で運用している。
デマンド交通	地域公共交通活性化協議会(都市・交通課担当)で公共交通の再編検討を行っており、市内バス路線の再編・タクシー事業者の廃業に伴い生じた交通空白エリアの解消を図るため、予約型乗合タクシー及び公共ライドシェアを導入している。 ＜五所川原地域＞ 予約型乗合タクシー 週2日、1日2往復 ＜金木地域＞ 公共ライドシェア 週5日(月～金)、9:00～16:00	【つがる市】 ・バス路線が廃止になり、バスが通らなくなった地域の代替路線の確保の上、市内3路線をタクシー車両によるデマンド運行を実施中。	【鱒ヶ沢町】 ・R4年度から町社協が買い物支援バスを実施している。(町社協に委託している福祉バス(ワゴン車)を活用。)	【深浦町】 R2.3に策定した地域公共交通網形成計画に基づくコミュニティバスの運行により高齢者の移動手段を確保。現段階でのデマンド交通の実施については、運行主体の確保等が大きな課題。	【鶴田町】 介護予防送迎車「スマイル号」がデマンド交通の役割も兼ねて運行されている。	

必要とされるサービス・対応状況

西北管内生活支援サービス等の状況

(R6.10.1現在)

	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
雪かき支援	<p>【五所川原市】 非課税単身高齢者世帯等に対し、門口除雪支援(利用者負担600円)を実施。シルバー人材センター等に委託。</p> <p>【五所川原市(社協)】 ・地域住民による助けあい活動により、安心して暮らすことができるよう、除排雪たすけあい事業を13町内会に助成。</p>	<p>【つがる市】 軽度生活援助事業(除雪支援):シルバー人材センター委託 ・65歳以上の1人暮らしや高齢者世帯で自力で除雪が困難な方に、自宅玄関から公道までの安全路を確保する。 ・1時間500円 ・年度内で20回まで</p> <p>【つがる市(社協)】 ・要援護者世帯の生活の安全確保のための学生による除雪支援の実施(屋根の雪下ろしは不可) ・社協所有の除雪機の貸し出し</p>	<p>【鱒ヶ沢町】 ・雪かきが困難で冬期間のみ有料老人ホームや他地区の子ども宅等で過ごす人もいるが、R3年度に発足した「生き生きわーくセンター」を紹介。大規模の者は、町業者を紹介。</p> <p>【鱒ヶ沢町(社協)】 ・令和3年7月より、元気な高齢者の活躍の場を目的に「生き生きわーくセンター」を開設。現場確認した上で、生活支援サポート派遣事業(200円/10分)の利用とどちらが適切か本会内で協議し除雪支援を実施していく。</p>	<p>【深浦町】 1人暮らし高齢者等で除排雪作業が困難な人へ業者のあつせんを行っている。 (1時間当たり) 作業員 1人 2,000円 2tトラック 1台 4,000円</p> <p>【深浦町(社協)】 ・雪かきが困難等で冬期間のみ生活支援ハウスに入居する人がいる。 ・シルバーバンクや生活お助け隊事業による除雪支援を実施。</p>	<p>【鶴田町】 ・個人所有の除雪機を使い要支援者世帯の除排雪を行った除雪支援結成団体に対し助成金を交付している。(使用した除雪機1台につき30,000円を助成)</p> <p>【鶴田町(社協)】 ・シルバー人材センターで対応。屋根の雪下ろしは不可。 ・生活支援サポーターが日常生活路程度は対応している。 ・各町内会等主体の住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動」を実施し、住民自らの発想により高齢者宅等の除雪を行っている地区もある。</p>	<p>【中泊町(社協)】 ・雪かきが困難等で冬期間のみ生活支援ハウス(小泊地区)に入居する人がいる。 ・おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など、自力での除雪が困難な方々に対し、中泊町建設業協会が主体で、当会が受付窓口となり除雪作業を実施。 除雪相談受付 0世帯 除雪レスキュー隊派遣 0世帯 除雪ボランティア派遣 0世帯 ※R5年度は少雪のため、派遣実績無し ・おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、重度障害者、低所得世帯など、家族や親族、ご近所にも頼れず、自力でハチの巣の駆除が困難な方々に対し、中泊町建設業協会が主体で当会が受付窓口となり作業を実施。 R5年度 駆除相談件数 12件 駆除実施件数 9件</p>
家事支援	<p>【五所川原市】 介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスによる生活援助等を実施。</p>	<p>【つがる市】 ・介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスによる生活援助等を実施。</p>	<p>【鱒ヶ沢町】 ・「鱒ヶ沢町母子支援センター(子育て世代包括支援センター)」では、300円/時で妊婦及び産婦(3ヶ月まで)の家事援助(炊事、洗濯、掃除等の家事全般)支援を実施。 ・乳幼児一時預かりも実施。</p> <p>【鱒ヶ沢町(社協)】 ・生き生きわーくセンターを開設したことにより、依頼内容によって生活支援サポート派遣事業の利用とどちらが適切か本会内で協議し支援。(ゴミ出し、除雪、病院受診付添、除草、買物、部屋模様替、粗大ごみ廃棄等)</p>	<p>【深浦町(社協)】 ・生活お助け隊事業による各種生活支援(家具の移動・取付修理、ゴミ出し、食材等の買い物代行、話し相手、安否確認、冬期間の玄関前の除雪等)を実施(利用料200円/15分(ゴミ出し100円等))。 ・介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。</p>	<p>【鶴田町(社協)】 ・養成講座にて生活支援サポーターを養成し、家事援助(調理・買い物・掃除・洗濯・通院介助等)を実施している。 (利用料280円/1時間・概ね週1回)</p> <p>・介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。</p>	<p>【中泊町(社協)】 介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。</p>
その他	<p>【七和地区】 ・生協と連携し、農産物の販売を実施。 ・地域が稼ぐ仕組みとして、薪プロジェクトを実施。 ・その他、アクティビティ、特産品の開発について検討中。</p> <p>【五所川原市(社協)】 ・R5年度より西北五圏域(五所川原市・つがる市・鶴田町)において、中核機関を受託し、成年後見制度等の利用を促進し、権利擁護支援体制の充実を図る。</p>		<p>【鱒ヶ沢町(社協)】 ・R4年度より重層的支援体制整備事業(鱒ヶ沢町福祉安心・安全支援事業)を実施。 ・鱒ヶ沢町、深浦町より権利擁護支援における「地域連携ネットワーク構築事業」を受託。「権利擁護センターあじがさわ」が中核機関の役割を担っている。</p> <p>【鱒ヶ沢町】 ・鱒ヶ沢町、深浦町より権利擁護支援における「地域連携ネットワーク構築事業」を町社協へ委託。「権利擁護センターあじがさわ」が中核機関の役割を担っている。</p>		<p>【鶴田町】 ・担い手不足。 ・生活支援サポーターの獲得に向けた取り組みを推進予定。</p>	<p>【中泊町】 ・町内43地区のうち30地区に兼任集落支援員を配置して、集落点検のためのアンケートや懇談会を実施。令和6年9月からは、中泊町集落支援ネットワーク協議会を設置し、各集落の課題解決のための方策の検討と実施に取り組んでいる。 ・就労活動支援コーディネーターを配置して、高齢者就労に関するニーズ調査、各種セミナー、マッチング支援を実施している。</p> <p>【中泊町(社協)】 ・令和5年7月より中泊町権利擁護センター運営事業を受託、町民からの権利擁護に関する相談等に応じ、成年後見制度等の利用を促進し、権利擁護支援体制の充実を図る。 ・ボランティアの先生並びに地域貢献活動連絡協議会応援職員等の協力をいただき、学校の長期休暇中の小学児童の学習を応援する「夏休み学習会」「冬休み学習会」を実施。</p>
担い手(候補)・取組状況	<p>・様々なボランティア活動に対してポイントを付与することで、生きがいや健康増進、地域活動に担い手として社会参加を促進するアクティブシニアポイント事業を実施。</p> <p>・住民が互いに支え合う地域社会の構築を目的に、地域への関心、理解を深めるための積極的な情報の提供や、サポートのための機会を、ボランティア養成講座で提供。</p>	<p>・地域でのサロン開設、活動への支援。(活動費助成等) ・地域で活動するボランティア団体への支援(場所の提供) ・福祉安心電話、要援護者の見守り、フードバンク(生活困窮者等へ無料提供)の実施。 ・ボランティア養成講座の開催、福祉推進員への研修会の開催。</p>	<p>・社協支部活動による見守り活動の実施。 ・町補助・委託事業を通じた見守り(配食サービス、福祉安心電話) ・住民主体の集い場立ち上げ支援等(※開設、運営費は町が助成) ・フードバンク、無料配食の提供(生活困窮者等)</p>	<p>町内全地区での高齢者の集い、ほのほの交流協力員や福祉安心電話・生活お助け隊事業や配食サービスによる見守り、要介護者や要支援者等への移送サービス、シルバーバンク事業や生活お助け隊による各種生活支援(①家具の移動・取付修理 ②ゴミ出し ③食材等の買い物代行④話し相手 ⑤安否確認 ⑥冬期間の玄関前の除雪等)を実施。</p>	<p>・町内各地区に地域福祉推進委員会を設置いただき、住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動」を実施。住民総参加の行事企画やほのほの交流協力員による見守り活動を行っている。 ・町保健福祉センターを主会場に、介護予防事業による集いの場を開催し、移動手段のない方のため送迎車も運行している。この送迎車は希望によりスーパー等への送迎も行う。 ・生活支援サポーター養成講座を実施することで高齢者の生活支援をする人材を育成し、事業対象者・要支援者宅に派遣している。</p>	<p>除雪ボランティア、配食サービス、見守り、移動支援、「駅ナカ学校」等の集いの場の運営補助、フードバンク等を実施。 ・新型コロナウイルスの影響が長期化した中で、社会的孤立や経済的困窮者の問題が深刻化しており、だれにも相談することができないまま地域の姿で孤立することで、状況が悪化するなどの可能性があることから、住み慣れた地域の中で困りごとを抱えた人に気づき、つながり、見守る人材の存在を地域に増やしていくことと見守り協力員のスキルアップを目的に、赤い羽根ポストコロナ助成事業による研修会を実施した。</p>
その他(NPO、民間企業、地域運営組織等)	<p>・七和地区活性化協議会、七和まちづくりネットワーク(七和活性化の実動組織)</p> <p>【五所川原市(社協)】 ・社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 R元年11月より、五所川原市民を対象とした保証人確保モデル事業を実施。 ・R2年度より、五所川原子ども宅食おすそわけ便を展開中。令和6年8月末現在、延べ12,007世帯が利用。 ・24時間365日緊急的な生活困窮世帯等にいつでも対応できるよう、コンビニと連携を図っている。</p>	<p>NPO法人元気おたすけ隊、街の駅あるびよん、JAつがるにきた(惣菜・弁当販売等)、サカエ薬局(薬局までバス)</p>	<p>【鱒ヶ沢町(社協)】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 ・日常生活緊急支援センターを活用し、地域住民や企業などから生活必需品(食料、衣類、家電製品等)の寄付を募り制度の狭間にある生活困窮世帯に対する支援を行う。</p> <p>【鱒ヶ沢町、鱒ヶ沢町(社協)】 町と連携し鱒ヶ沢町(社協)が開設した「生き生きわーくセンター」を活用し、引きこもりの方等を対象とした就労準備支援を実施。</p>	<p>【愛和会、はくしん会、治省会、深浦町(社協)】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に町内3法人が参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。</p> <p>【深浦町(社協)ほか】 H29年度、町内の全社会福祉法人及び民間介護事業者等で組織する連絡会を設立。地域における課題等の協議、連絡調整や情報交換等を実施。また、事業所の車両に共通の見守りステッカーを貼付しながらの地域の見守り活動、社会福祉法人等による総合相談事業、生活困窮者に対するサポート事業を実施。 また、上記社会福祉法人等及び県経営協と「深浦町福祉・介護事業者等の災害等相互支援に関する協定書」を取り交わし、災害時等に相互連携できる体制を構築。</p>	<p>自主防災クラブ(除雪、ほぼ行政推進員)</p> <p>【いずみ会、鶴松会、厚生会】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。</p> <p>【鶴田町(社協)ほか】 町内の社会福祉法人、福祉施設、民児協、町内会、役場で「鶴田町地域貢献推進協議会」を設立。相談所を7法人に設置し、住民の相談に対応しているしながら、地域貢献活動を検討している。</p>	<p>【内湯療護園】 小学校児童の福祉教育、ボランティア受け入れ、施設利用者の交通安全キャンペーンへの参加等</p> <p>【中泊町(社協)】 町内の社会福祉法人、西北五医師会、町福祉課、町民協、町保健協力員、町行政連絡員で組織する「地域貢献活動連絡協議会」を設立。ワーキンググループの設置、地域ニーズ調査の実施、住民座談会を行う。福祉・介護人材の確保・育成事業として事業説明会、職場体験会、合同面接会等を行う。「地域ナース活動」を実施。</p>